



町長回誌 No.116

町長日誌の第116号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆様のご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

6月17日(月) 町内を車で走ると大型であおりを高くしたダンプカーとすれ違うようになりました。サイレージ用の牧草の運搬をする車です。晴天が続けば、これから7月の上旬までこの光景が繰り返されます。因みに、牧草は1年間に何回収穫するかご存知でしょうか？道端や庭の草も刈れば又伸びてくるように、品種によっても異なりますが年に2～3回収穫します。「品種って？」、草に種類があるの？と思われる人もいるかもしれませんね。植物にはイネ科・マメ科と言う2種類があるのはご存知かと思いますが、イネ科牧草で一番多いのが「チモシー」と「オーチャード」と言う品種で、この二つは明治政府が軍馬の増産や酪農を振興した時に導入した外来品種です。また、マメ科牧草では代表的なのがクローバーです。白、ラジノ、赤等の種類があります。ところでヒグマの大好物がこのクローバーだと言う事をご存知でしょうか？ヒグマはクローバーが沢山生えている牧草地に、お座りをして前足でクローバーを摘んで食べるのだそうです。あの獠猛なヒグマが・・・？想像するだけでユーモラスですね。さて、今年の低温や日照不足は牧草の収量にも大きな影響を及ぼしている事は言うまでもありません。本当は、今の時期に雨がしっかり降ってくれば、牧草や家庭菜園にも恵みの雨となるのですが？一方、海の方ですが、今年はプランクトンの発生が例年になく多いようです。ホタテ貝では「グリコーゲン」と言う成分が異常に高く、これにより身入りが大きく甘みの強い貝になるのだそうです。「美味しいのならないしょ！」と思われるかも知れませんが、貝の味が濃厚で大ぶりの身入りになるのは良い事なのですが、グリコーゲンが多いと干し貝柱にする時、貝柱の中心部までよく乾かない等の問題があると言われていています。確かなデータは無いようですが、関係者は心配をされています。しかし、今年の価格は200円超えて始まり、今でも180円前後の高値で推移していて、とても幸先の良いスタートを切っています。

5月24日(金) 22日から道路整備の全国大会と国会議員への要望活動のため東京へ出張しました。翌23日午後、副町長から「明日、NHK稚内報道室から風車の取材に来たいと言うのですが、いいですか？」という電話がありました。私は「うちの風車は、動かないのにいいの？」と聞きますと、何故に動かないのかを取材したい！と言う事で、簡単な聞き取り取材と思い「いいよ！」と言ってしまいました。翌24日午後1時に紋別空港に到着し、迎えの車で帰庁すると既にカメラやライトのスタンバイがなされていました。インタビューをするのは稚内報道室の記者なのですが、札幌からディレクター、旭川からカメラマンとアシスタントが来ていて町長室は大ごとになっていました。取材内容を聞くと、自然エネルギーの特集をするに当たり、問題点も明確にしたいので、風車を止めている興部町が格好のモデルになったようです。取材は3時間に亘り延々と続き、とうとう昼食は食べられませんでした。取材は、町長車で酪農の丘の風車に向かうところから始まり、風車の前にたたずむ私が風車を止めた理由を説明するという流れです。気温が低くガス模様のなか何度も撮影が繰り返され、その後、町長室で傷んだ風車のベアリングの写真を見せるシーンや、机に向かい頭を痛めている様なシーンなどの撮影が続き、ディレクターのみかカメラマンからも様々な注文が私に飛びます。私の方も、だんだん俳優にでもなったような気分になっていました。(後日談)～放送は6月7日の7時30分からでしたが、私の出演時間は2～3分もあったのでしょうか？3時間にも及ぶ撮影はなんだったのでしょうか？つくづく俳優は大変だと思いました。(笑い)

6月9日(日) 例年5月最後の日曜日に開催されている小学校の運動会は、低温の影響から今日に延期されました。先週の中学校は悪天候の中での開催でしたから心配もされていましたが、予報通りに良い天候に恵まれ、子供たちの一所懸命な姿に楽しい一日を過ごさせて頂きました。最初に興部小学校の開会式と競技を11時ぐらいまで見せて頂き、そのあと沙留小学校に向かい、全校児童による「よさこいソーラン踊り」と午後の競技そして閉会式に参加させて頂きました。「紅勝て、白勝て」は運動会の定番ですが、子供たちが懸命に走る姿には、紅白や、早い遅いの区別なく誰もが拍手を送りたくくなります。来賓席から遠くの山並みを見ますと、ついこないだまで白い雪に覆われていたはずが、いつの間にか初夏の気配を纏っています。元気に走ってくれた子供たちに感謝です。「皆さん、がんばりましたね!!」

この日誌は17日に書き始まり18日の夕方完成しましたが、17日夜から18日の朝にかけて待望の雨が降りました。「恵みの雨」とはまさにこの雨の事を云うのでしょうか。農家の人も街路の花も、家庭菜園の野菜たちも一斉に元気になりました。いつも思うのですが、私たちの自由にならない自然の恵みが食糧であり、その自然が怒れば災害となります。TPPの推進を進めようと国は考えているようですが、安定な気候など有り得ません。6月に入ってロシアでは雪が降り、ドイツは大雨の被害が深刻です。この事を今開かれているG8の首脳たちは肌身で理解しているのでしょうか？世界の紛争は為政者がエネルギー（石油と食糧）の争奪を繰り返すことにより、耕作が放棄されて農地が荒れ、山林が丸裸になり、結果として国民が飢えることにより起きるものです。この日本も僅か68年前それに近い体験をしましたが、人間は忘れ易いものです。興部町はそのことを決して忘れないために今年も7月12日に「戦没者追悼式」を行う予定です。では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など（使い古しのもので構いません）に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 82・2131です。